科目ナンバリング	U-LAS21 20006 SO48						
授業科目名 <英訳>	ドイツ語IIＢ D2152 Intermediate German B			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　須藤　秀平		
群	外国語科目群	分野(分類)		使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	月3	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

タイトル：ドイツの古い小話を原文で読む

　この授業では、初級ドイツ語の知識を活かして、1800年頃のドイツで発表されたテキストを原文で読みます。扱うのは、「民衆暦」と呼ばれる庶民向けのカレンダーや、当時はまだ珍しい日刊の新聞に掲載された小話です。練習問題として用意されたドイツ語文ではなく、かつてドイツの人々が実際に書いた歴史的なテキストに原文で触れることにより、ドイツ文化史の一端を肌で感じてもらいたいと思います。
　中級ドイツ語ですので、初級ドイツ語の知識が必要です。基本的にはドイツ語のテキストを精読しますが、単に文の意味を把握するのではなく、原文の構造を理解し、「日本語ではこう書くがドイツ語ではこう書く」といった思考法の違いを学んでもらいます。
　授業では基本的にグループワークの形態をとります。テキストを各自事前に予習した上で、わかったところ、わからないところをグループで話し合ってもらいます。進度はみなさんの理解度に応じて適宜調整します。基礎知識をつけるためのミニ講義や小課題も予定しています。

[到達目標]

・ドイツ語で書かれた文章の構造を理解し、内容を読み取った上で、人に伝わる日本語に訳すことができる。(技能)
・近代ドイツが置かれた歴史的状況や文化的背景に関する知識を身につける。(知識・理解)
・自分自身の関心や問題意識を持ち、それについて学術的に考察することができる。(態度・志向性)

[授業計画と内容]

授業はフィードバック日を含み１５回行う。
１．オリエンテーション
２－１４．テキストの読解
１５．フィードバック

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

成績評価については、平常点（70%）・学期末試験（30%）に基づくものとする。

[教科書]

授業中に指示する
授業中にプリントを配布する。

ドイツ語IIＢ D2152(2)へ続く↓↓↓

ドイツ語IIＢ D2152(2)

[参考書等]

（参考書）
独和辞典が必要。

[授業外学修（予習・復習）等]

授業ではテキストの解説が中心となるため、事前の予習が重要となる。

[その他（オフィスアワー等）]

外国語を学ぶ意義はたくさんありますが、その一つに自分たちとは別の文脈で生きる人々の考え方を知ることが挙げられます。この授業では、かつてドイツ語圏の人々が実際に書いた歴史的テキストを読みます。当時どのようなメディアがあり、どのようなものが読まれていたのかを知ることにより、私たちが目の前にしている現在を捉え直す視点を持ってもらいたいと思います。